

7. 施策の着実な展開のために

歩行者と自転車の安全確保は、早急に解決すべきまちの課題です。このため、今後策定される「(仮称)札幌市自転車利用総合計画」をはじめ、関連するさまざまな計画の立案にあたっては、本提言の趣旨を十分に取り入れ、関係機関の横断的な連携体制のもとで、効率的かつ早期に施策を進めていくことが大切です。

また、計画に基づき実施される施策が、「安全な自転車利用環境の実現による魅力的なまちづくり」という計画目標の達成に寄与しているかを確認し、社会情勢の変化にも対応しながら柔軟に自転車施策を見直して実行していく体制を構築するとともに、施策の進捗状況を市民に広く周知していくことが重要です。

さらに、「積雪期の自転車利用のあり方」、「パートナーシップの実現に向けた取り組み(市民参画の手法やタイミング)」など、様々な意見がある施策や考え方については、今後とも多くの市民を巻き込んだ議論の場を設けて検討を継続していただきたい。

自転車が札幌市において今後も重要な乗り物であり続けるために、様々な立場の人々が連携し、着実に自転車施策を推し進め、札幌における移動環境、にぎわい、ひいてはまちの魅力がいっそう向上することを期待します。

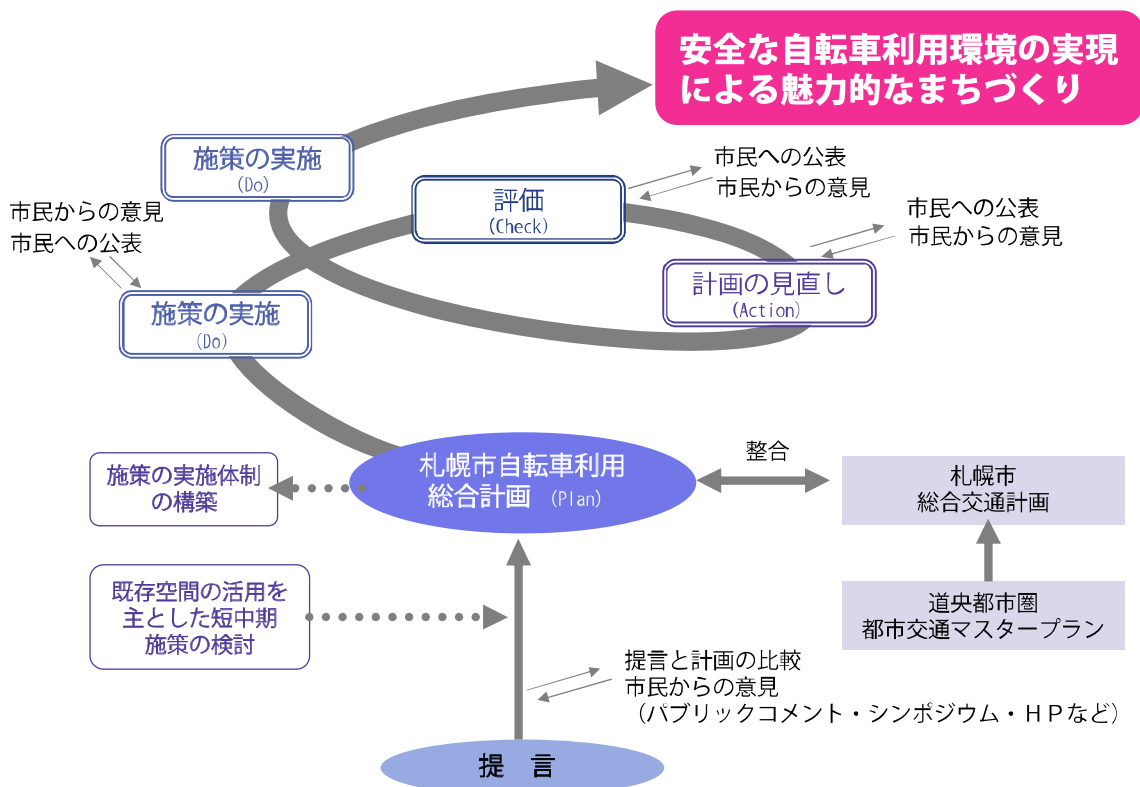


図-10 施策の展開イメージ